

根岸遺跡

発掘調査現地説明会資料



掘立柱建物跡(平成20年度)

平成21年10月17日

北上市立埋蔵文化財センター

根岸遺跡発掘調査の概要

1 調査要項

遺跡名	根岸(ねぎし)遺跡
所在地	北上市黒岩 12 地割地内
調査期間	平成 21 年 5 月 12 日～10 月 30 日(予定)
調査面積	約 700㎡
調査原因	市道改良工事に伴う緊急発掘調査、内容確認調査
調査担当	北上市立埋蔵文化財センター

2 遺跡の位置と立地

根岸遺跡は J R 北上駅から北東に約 4 km、北上市黒岩 12 地割地内に位置し、北上川東岸の高台(標高 71～78m)に立地します。水田が広がる面との高低差は 8～15m です。これまで縄文時代の遺跡であることは知られていましたが、発掘調査が実施されるのは昨年度から継続している今回の調査が初めてです。

根岸遺跡から北東約 700m には平安時代の寺院跡である「白山廃寺跡」、北東約 400m には縄文時代と平安時代の集落跡である「菅田遺跡」が所在します。

3 今年度の調査成果

昨年度見つかった掘立柱建物跡の東西方向に調査範囲を拡張して確認調査を行い、掘立柱建物跡が東側に柱 1 本分、西側に柱 2 本分拡がることを確認しました。

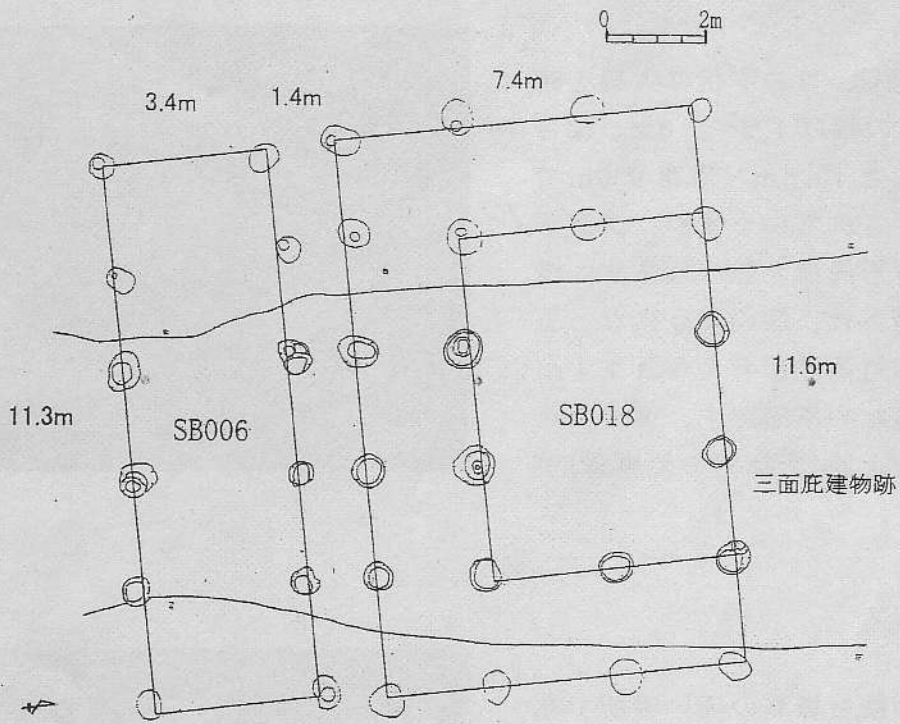
また、昨年度の調査区南側を調査し、縄文時代(約 4,000 年前)の土坑 10 基、建物跡 1 棟、平安時代(約 1,050 年前)の土坑 11 基、竪穴状遺構 1 基、焼成遺構 2 基、溝 12 条、柱穴状土坑約 90 基、時期不明の土坑 6 基が見つかりました。

〈平安時代〉

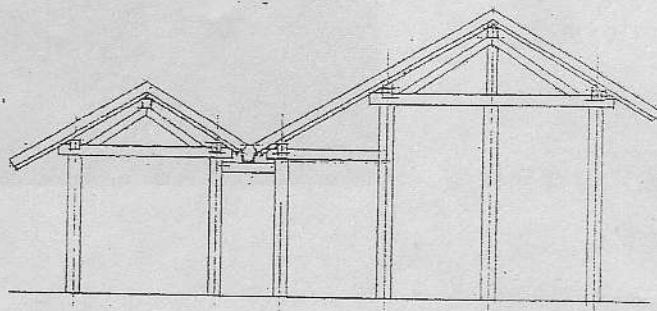
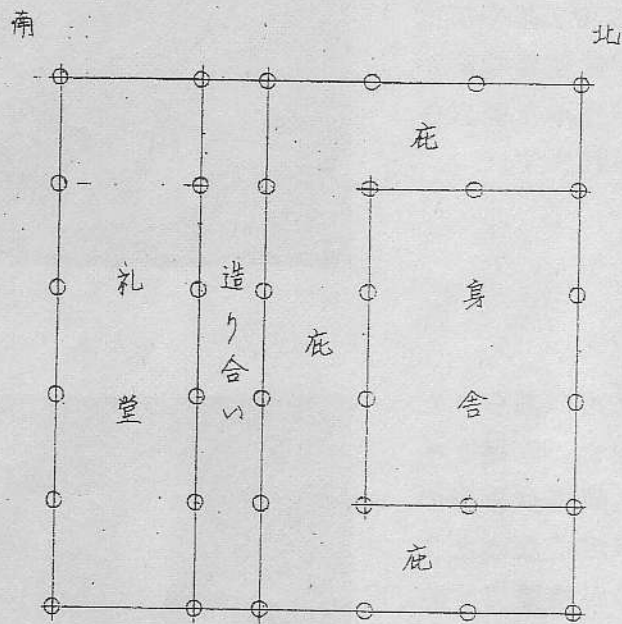
SB006・SB018 掘立柱建物跡(柱の根元を土に埋め込んだ建物跡)

南北 12.2m、東西 11.6m の範囲で直径 50～80cm の柱穴が 34 個見つかりました。2 棟の建物跡が並んで建てられています。南側の SB006 掘立柱建物跡は、5 間×1 間(東西 11.3m×南北 3.4m)の建物跡と考えられ、柱間は東西 1.9～2.5m、南北 3.4～3.6m です。北側の SB018 掘立柱建物跡は、3 間×2 間(東西 7.1m×南北 5.0m)の身舎の三面に庇がつく東西 11.6m×南北 7.4 の三面庇建物跡と考えられます。柱間は東西 2.2～2.5m、南北 2.3m～2.6m です。この 2 棟の建物跡は、近接して並んで建てており、配置と構造から仏堂と考えられ、SB006 掘立柱建物跡が礼堂(礼拝空間)、SB018 掘立柱建物跡を正堂(本尊を祀る空間)とする双堂と考えられます。

これらの建物跡は、10 世紀後半から 11 世紀前半の土器が出土した遺物包含層より古く、10 世紀の土器が出土した竪穴住居跡より新しいことから、掘立柱建物跡の年代は 10 世紀代とみられます。



掘立柱建物跡柱穴配列推定図

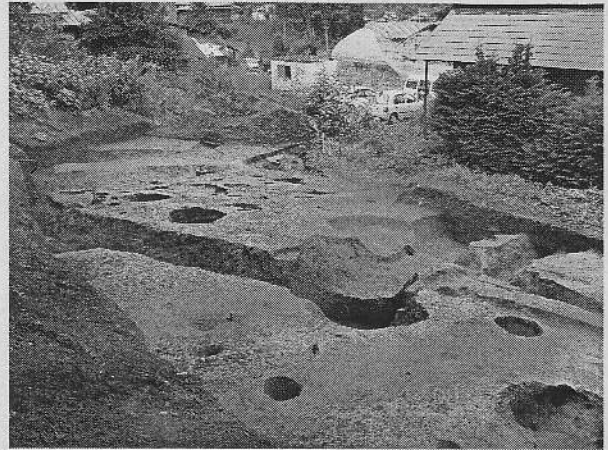


礼堂切妻造、正堂流造

掘立柱建物跡復元想定図 (濱島正士氏作図)

SD042 溝跡

調査区の南側で、コの字状の大溝を確認しました。溝の幅は1.3~2.0m、深さ25~70cmで、南北10.5m×東西9.0mです。西側が削平されていますが、溝が隅丸方形に巡る方形周溝と思われます。溝の内側に土が盛られ、塚のようになっていたお墓である可能性が考えられますが、削平されているため不明です。埋土からは、平安時代の土器(土師器や須恵器)が出土しています。



〈縄文時代〉

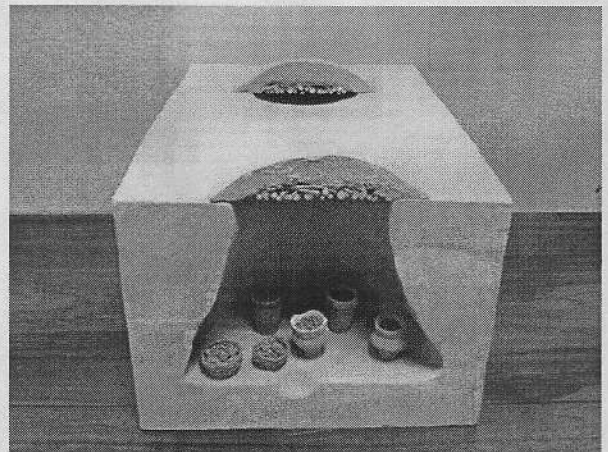
SB084 建物跡

調査区中央の最も標高の高い場所で見つかりました。直径30~70cmの柱穴状土坑が10基楕円形状に巡っています。規模は、南北7.0m×東西3.0mで、壁や炉は見つかりませんでした。掘立柱建物跡か床面が削平され柱穴のみが残った竪穴住居跡である可能性が考えられます。



貯蔵用の穴

木の実などを貯蔵するために掘られた穴です。10基見つかりました。直径1~2mの円形のものも多く、隅丸長方形の穴もみられます。底の方が広がったフラスコ形をした穴が多いのが特徴です。埋土からは縄文時代後期前半(約4,000年前)の縄文土器が出土しています。



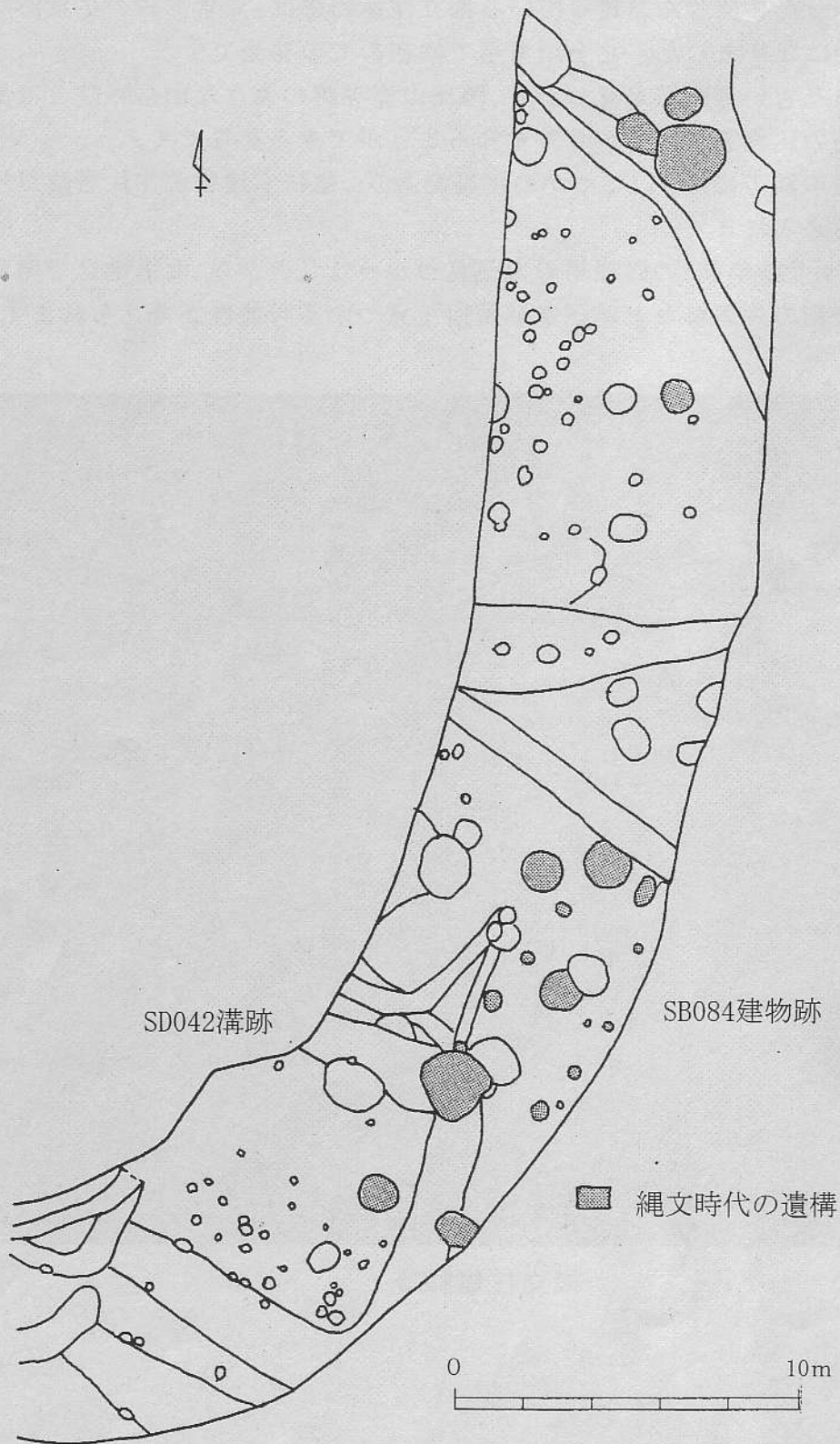
貯蔵穴の復元模型

4 まとめ

- ①昨年度見つかった2棟並んで建っている掘立柱建物跡は、双堂形式の仏堂跡であることが明らかになりました。北上川東岸では初めての発見です。
- ②白山廃寺跡より古い寺院跡が見つかり、国見山廃寺跡のような山岳寺院とは異なる、平泉文化以前の仏教文化の拡がり方を知ることができる発見です。
- ③今回の調査区の周辺には、いくつかの平場があり、他にも建物跡や住居跡が所在する可能性が考えられます。
- ④縄文時代(約4,000年前)の貯蔵用の穴が見つかったことから、北上地区で発見例が少ないこの時期の住居跡などが調査地周辺で見つかる可能性が考えられます。



掘立柱建物跡



根岸遺跡遺構配置図